

## 執筆者紹介

Ahmed MOSTAFA (アハマド・モスタファ)

カイロ大学助教授

カイロ大学文学部日本語・日文学科卒業。大阪外国語大学大学院博士前期課程修了。中京大学大学院博士後期課程修了。博士論文は『『義経記』、『ペーパルス王伝説』における日本・アラブ英雄像の比較研究』。研究分野は日本・アラブの英雄像の比較研究、戦後文学。論文に『『愛玩』・生活能力を欠いた一家と回復への期待—安岡章太郎の「戦後」の始まり』(国際日本文化研究センター「日本研究」19、1999)、「被占領者の屈辱—安岡章太郎『ハウス・ガード』・『ガラスの靴』をめぐって」(「日本研究」20、2000)など、翻訳に『源氏物語』(アラビア語訳、2003)などがある。

中村 綾 (なかむら・あや)

京都府立大学研修員

京都府立大学大学院文学研究科修士課程修了。京都府立大学大学院博士後期課程単位取得認定退学。研究分野は日本近世における中国白話小説の受容。論文に「岡嶋冠山の白話語彙をめぐって—『通俗皇明英烈伝』『太平記演義』『通俗忠義水滸伝』を中心に—」(「和漢語文研究」1、2003)、「『新鑑草』とその周辺—その白話語彙使用をめぐって—」(「国語国文」73(5)、2004)などがある。

梁 蘊 嫻 (LIANG Yun Hsien リョウ・ウンケン)

東京大学大学院総合文化研究科博士課程在学中

台湾淡江大学卒業。台湾輔仁大学大学院退学。研究分野は江戸時代における『三国志演義』の受容。論文に『『日本書紀』における「反矢」の物語をめぐって』(「淡江日本論叢」10、2000)、『『諸葛孔明鼎軍談』における『三国志演義』の受容とその変容』(「比較文学研究」83、2004)などがある。

**李 偉 (Li Wei リ・ウェイ)**

総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻在学中

北京外国語大学北京日本学研究中心日本文化専攻修士課程修了。研究分野は造園学、景観論。論文に「初期小石川後楽園における眺望行為に関する研究」(「ランドスケープ研究」68 (5)、2005) など、学会発表に「尾張藩戸山荘の借景に関する研究」日本造園学会関西支部大会、2005) などがある。

**Kristian BERING (クリスチャン・ベーリン)**

SOASロンドン大学博士後期課程在学中

コペンハーゲン大学卒業。研究分野は戯作文学。修士論文は「黄表紙—ジャンル様式の特徴と文学史的位置に関する試考、山東京伝作『御存商売物』と『作者胎内十月図』の注釈付翻訳によって照らす」。SOASロンドン大学に入学後、交換留学生として同志社大学に所属。その後京都大学文学部研究生。博士論文「馬琴と演劇」を提出の予定。

**康 志 賢 (KANG Ji Hyun カン・ジヒョン)**

全南大学校国際学部副教授

韓国・済州大学校卒業。韓国外国語大学大学院修了後、九州大学大学院文学部に於て修士・博士課程修了。博士論文は「十返舎一九の作品論—享和二年を軸として」。研究分野は江戸戯作。日本学術振興会特別研究員・東京大学大学院比較文学研究室客員研究員を歴任。論文に「『色男大安売』考—翻字と解題〈I〉—」(「文学研究」94、2006)、「浮世絵に見る『東海道中膝栗毛』滑稽の旅」(「浮世絵芸術」151、2006)、「十返舎一九の〈忠臣蔵もの〉黄表紙展開史攷」(「語文研究」95、2003) などがある。

**徐 禎 完 (SUH Johng Wan ソ・ジョンワン)**

翰林大学校教授

韓国外国語大学校卒業。韓国外国語大学校大学院退学。筑波大学大学院博士課程修了。研究分野は能楽(中世文学)。著書に『天皇と日本文化』(共著)、『東アジア基層文化に表れた死と生』(共著) など、論文に「韓日仮面劇比較研究

序説」(「翰林日本学研究所」2)、「軍記物語と能—「通盛」「清経」の位置付けを中心に」(「国文学解釈と鑑賞」59(11)、1994) などがある。

**王 軍 合 (WANG Jun He オー・グンゴウ)**

東京外国語大学大学院在学中

北京第二外国語学院卒業。静岡県立大学大学院修了。研究分野は中世文学、新古今和歌集。研究発表に「源氏物語の簾巻きについて」(和漢比較文学会西部例会、1994) などがある。

**江 藤 高 志 (えとう・たかし)**

大阪市立大学大学院文学研究科在学中

都留文科大学卒業。研究分野は古代文学、中国文学の受容から見る平安前期文学の理念と修辞。学会発表に「平安前期の詩における擬人法」(和漢比較文学会例会、2001)、「夭折の嘆き—『土左日記』と建安詩文との関わり—」(和漢比較文学会大会、2004) などがある。

**Jamei NEWHARD (ジェイミー・ニューハード)**

アリゾナ州立大学助教授

ブラウン大学卒業。コロンビア大学大学院博士課程修了。研究分野は日本古典文学。著書に「“Fake Tales,” translation of excerpt from Nise monogatari」(Haruo Shirane ed.『Early Modern Japanese Literature: An Anthology 1600-1900』Columbia University press, 2002)、Haruo Shirane ed.『Classical Japanese Reader and Essential Dictionary』(Columbia University press, 2006)、「With Lewis Cook, “Tales of Ise,” translations of excerpts from Ise monogatari」(Haruo Shirane ed.『Early Japanese Literature, An Anthology: Beginnings to 1600』Columbia University press, 2006) などがある。

**水 野 達 朗 (みずの・たつろう)**

高麗大学校助教授

東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻(比較文学比較文化)修了。

研究分野は日本近代文学における「写実」の比較文学的研究。博士論文は「明治文学のエマソン受容—透谷、独歩、泡鳴—」。論文に「『表象』の相克—岩野泡鳴のエマソン受容—」（『比較文学』42、1999）、「詩人の純潔—透谷『エマソン』のアメリカー」（『比較文学研究』81、2003）、「『写生』の境界—高浜虚子『朝鮮』の様式—」などがある。

**頼 衍 宏** (LAI Yan Hong ライ・エンコウ)

銘傳大学専任講師

現在は東京大学総合文化研究科超域文化科学専攻（比較文学比較文化）博士課程在学中。研究分野は比較文学。コスモス短歌会台北支部のゲスト会員。論文に「従中国三大石窟の文字資料重新審視日本観心寺阿弥陀仏造像記」（『台湾日本語文学報』2001）がある。

**呉 亦 昕** (WU Yi Shin ゴ・エキシン)

筑波大学人文社会科学研究科博士課程大学院在学中

台湾東呉大学外国語学院卒業。研究分野は植民地期台湾における日本語文学。学会発表に「植民地台湾の恋愛幻想—呉天賞「薔」から見る「恋愛」と「植民地近代化」」（日本比較文学学会研究発表、2006）など、論文に「帝都東京にさまよう曖昧な日本人—帝国日本の言語政策を逆手にとった巫永福の「首と体」—」（『文学研究論集』24号、2006）などがある。

**朴 貞 蘭** (PARK Jeong Ran パク・ジョンラン)

名古屋大学大学院在学中

釜慶大学校卒業。研究分野は1945年以降の日本・韓国における中学校「国語科」教科書の思想的問題。学会発表に「『道徳教育』としての『国語』—1950年代の日・韓における中学校教科書を中心に—」（日本比較文学学会大会、2004）、「西尾実と『国語科』教科書—戦後検定初期教科書における『連続性』の問題を中心に—」（日本文学協会研究発表大会、2005）などがある。